

桜中だより

長崎市立
桜馬場中学校

校長 大塚 潤

どんな成長ができましたか

自信をもつて次の学年へ

今日は令和4年度の締めくくりの日。この1年間を振り返って、どんなことが心に残っていますか。

私は、皆さん全員のお知らせを見せられていますが、読ませてもらうと、担任の先生が、皆さんの成長を楽しみにしてきた



濱崎元会長の思いを受け継ぐぞ！

こと、進級して次の学年になったら、これまでに勉強して身に付けたことをしっかりと発揮してほしいと願っていること、その思いが伝わってきました。さて、この1年間、様々な体験をし、体も心も成長したと思います。「今までできなかったことができたように」になった「わかに

ななかったことが分かるようになった」など、いろいろな成長があると思います。どんな成長をしたのか、自分でしっかりと確認していくことで、自信をもつて次の学年に進み、次の目標に向けて頑張ることができそうです。ところが、成長には、「目に見える成長」と、「目

見えない成長」があります。「目に見える成長」では、体の成長が一番よくわかります。その他には、部活動の試合で賞状をもらえたこと、それまでできなかった技ができるようになったこと、楽器を弾けるようになったこと、大運動会で活躍したこと、合唱コンクールで大きな声で歌えたこと、成績があがったこと、学級のためにしっかりと働いたこと、友達がたくさんできたこと、人助けをして感謝されたこと、地域の方や先生方に「桜色の挨拶をしっかりと行えたこと、間違っていたことを間違っていると言えたこと、など、自分の中に新しい力が生まれています。

一方、「目に見えない成長」もあります。「協力することができるようになった」「素直になった」「人の意見を聞くことができるようになった」「人の気持ちがわかるようになった」「ルールやマナーを守るようになった」「感謝する気持ちが多くなった」「あきらめないで、我慢して粘り強く頑張るようになった」「人にやさしくできるようになった」「ふるさとを愛する気持ちが強くなった」などは、心の成長として目に見えない成長ですが、「この目に見えない心の成長が土台となって、やがて見える成長に変化していきます。

昨日読んだある本に、次のようなことが書かれてありました。

『体力・体格の差は、大きな差ではない。気の持ち方の差、心の差・メンタルの差が大きな差になっている。高校野球で、甲子園に出てくる常連校は、監督の考え方が違ったり、選手の心の持ち方が違ったり、プロ野球も同じ。体力・技術は大きな差ではない。勝負に対する「思いの強さ」「心の置き処」がちよつと違うだけ。心は鍛えたら強くなれる。優しくもなれる。優しくできたら、優勝できた。』

人間がこの世に人間として存在していること、理由は、「周囲の誰かを幸せにするため」といわれています。動物は自分のために生きていますが、人間は自分以外の幸せのために生きています。そんなことが書かれて

いて皆さんに伝えたいと思ひ紹介しました。目に見えない心の成長が、心のもち方が、成果を出したということです。目に見えない成長が、やがて、美しく成長して、行動となって、言葉となって見えてきます。

失敗や挫折を恐れずチャレンジしましょう。たとえ、成功しなかったとしても、一生懸命頑張った道が自分を成長させてくれます。やり遂げる努力を続けていくことが大きな成長につながります。「打ち込め 粘れ 欲を出せ」です。

また、皆さんは、この1年間いろいろな人のお世話になって成長してきました。今日はありがたの気持ちをもち、お父さん、お母さんに通知表を渡ししましょう。

次は、学年に進級する前に、自分自身のいいところと弱いところを見つめなおし、次の目標に向けて頑張らしましょう。それでは、来年度、希望に満ちたスタートが切れるよう、心から期待しています。有意義な春休みを過ごしてください。新学期、元氣な笑顔に会えることを楽しみにしています。

バットボトルキャップ結果

全 体 83. 3kg
(40人分のポリオワクチン・40人分のいのち)
群優勝 緑群 34. 85kg
学年優勝 1-4
2-2

○1-1	5.	2	kg
○1-2	4.	25	kg
○1-3	3.	75	kg
○1-4	25.	8	kg
○2-1	3.	8	kg
○2-2	4.	85	kg
○2-3	4		kg
○2-4	4.	6	kg
○3-1	10.	5	kg
○3-2	7.	75	kg
○3-3	6.	35	kg
○3-4	4.	45	kg

みんな頑張ったね!
それこそ1-4、すごいね。
みんなで拍手!

7名の先生方とお別れです。

このたびの人事異動で次のように発表されました。

◆転出

- 教頭 荒木 俊明 伊王島小学校校長
- 教諭 新 紀子 鶴南特別支援学校時津分校
- 教諭 石井 剛 山里中学校
- 教諭 西川 由香 日見中学校
- 教諭 草野 友希 北諫早中学校
- 教諭 江崎 優子 県教委義務教育課
- 教諭 伊藤 真樹子 長崎大学大学院
- 養護教諭 大櫛 真美 県教委体育保健課

◆転入

- 白石 博之 教頭
- 長澤 伸二(社会) 東長崎中学校より
- 脇浜 貴広(数学) 県教育センターより
- 住田 亜美(国語) 新規採用
- 櫻井 星斗(英語) 新規採用
- 川邊 有紀(美術) 西浦上中学校より
- 吉田加寿子(英語) 長与中学校より
- 柴田 由季(養護) 渡良小学校より

本校生徒のために、地域のために、ご尽力いただきありがとうございました。

新しい場所での更なる活躍を祈念しております。健康にはくれぐれもご留意ください。転入してこられる先生方へも、前任者に引き続き、どうぞよろしくお願いいたします。

送 辞

先輩方が過ごされた中学校生活は、コロナ禍の真只中。様々な活動が制限された日々でした。行事や部活動でも変更・中止が相次ぎ、やりきれない思いを抱えたことも多かったのではないでしょう。そのような中でも、前向きな先輩方の姿は私達の胸に色鮮やかに焼き付いています。毎日早朝のグラウンドに集まり、アッ

練習。心身両面でつらさを感じる中、どれだけ走ったかわかりません。それでも先輩方の目標に向かってひたむきに努力される姿は次第にチームを團結させ、本番では初めて知る達成感がありました。圧巻の歌唱力が美しく響きわたった合唱コンクール。そのハーモニーにため息が出るほど憧れ、来年こそは近づきたいと強く決意したことを今も覚えています。忙しかった生徒会活動、ユーモア一つで場

を和ませてくれる優しさ、さりげなく周りを気に遣う心を教わりました。一緒に活動できた貴重な思い出はどれも輝いていて、私達を力強く導いてくれます。「走った距離は裏切らない。マラソンランナーの野口みずきさんの言葉です。どんなときも先輩方の努力は決して裏切られることはありません。夢と志を忘れず、未来に向かって挑戦される先輩方を私達はどこまでも応援

しています。いつもやさしく接してくださったことを私達は決して忘れません。先輩方のご健康と更なるご活躍を心からお祈りしています。

在校生代表 久保田陽斗



HPのアクセス数も、27122(23日現在)を数えました。次年度も子供たちの豊かな学びの様子をどんどん発信していきたいと思えます。乞うご期待。

桜中に仲間入りして

PJA副会長 小宅 絵美

はじめまして。

令和4年度よりPTA副会長を務めさせていただいております小宅と申します。今年度長女が入学し我が家ははじめての中学生活に、入学当初は親子共々ドキドキハラハラの日々でした。長女ははじめの頃は新しい環境にもどかしい様子でしたが、徐々に新しい友達ができ部活も頑張り表情も変わってきて親も安堵したことを思い出します。

そして私もPTA副会長のお話をいただき、沢もわからず仲間入りさせていただきましたが、先輩方に導いてもらい楽しく活動させていただいております。学校にお邪魔する中で、生徒みなさんの気持ちのいい挨拶や生徒会を中心としたみなさんの積極的な活動に、感銘をうけることが多かったです。「中学生ってこんなに頼もしい存在なんだな」と、いつも感心しています。そして生徒の自立と自律を促す校長先生はじめ先生方の日頃のサポートに本当に感謝しております。これからも桜中生の活躍を近くで見られることを楽しみに、微力ながらPTA活動を進めていきたいと思っております。

あとがき

21日は春分の日でした。「自然をたたえ、生物を慈しむ日。この日を境にして、昼の時間が長くなっていくため、自然のあらゆるものが成長し始めます。自然の息吹に満ちあふれる中で、4月からの決意を新たに作る季節でもあります。本日24日が修了式と離任式。やがて着任式・始業式・入学式を迎えて学校は活気づきます。

春分の日、すべての生命が新しい鼓動を始める日。春休み期間中、安全に気をつけて、4月からの生活の目標をしっかりと考えさせたいものです。

学校は地域の学校です。本誌「桜中だより」の願いはただ一つ。「地域に根ざした桜中でありたい」という思いです。

地域の宝、ふるさとの宝である、子どもを主人公に「真ん中」に据えて、これからも頑張っていきたいと思ひながら、「31号」を数えました。ひとまず、ペンを置きます。ご愛読ありがとうございました。5年度もどうぞよろしくお願いいたします。これからも、学校と家庭がしっかりと手を携えながら、地域の子どもは地域で育てていきたいと思います。